指導事例集ｐ．６７

児童に見られるつまずき

　図形としての性質から三角形をとらえることができない

つまずき解消に向けた指導のポイント

　身近にある三角形を演繹的に分類する活動を通して、辺の長さに着目して正三角形や二等辺三角形を見ることができるようにする。

１　学年・単元名　　第３学年　三角形と角（図形領域）

２　単元目標

　　三角形についての観察や構成などの活動を通して、三角形を構成する要素に着目し、二等辺三角形や正三角形、角について理解する。

３　単元の内容

**・二等辺三角形、正三角形の概念**

**・二等辺三角形、正三角形のかき方**

　・形としての角の概念

　・二等辺三角形、正三角形の角の性質

４　本時の目標①

　辺の長さに着目して三角形を弁別することができ、二等辺三角形や正三角形の意味について理解する。

参考：板書①

５　本時の展開①

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 児童の活動 | 指導上の留意点  **太字：つまずきに対する手立て** |
| 導　入 | １　辺に着目して、身の回りにある三角形を分類することを確認する。  ワークシート使用 |  |
| 展　開 | ２　自力解決をする。    ３　考えを発表し、話し合う。  　①３つの辺の長さが同じ＝おにぎり型  　②２つの辺の長さが同じ＝三角コーン型  　③辺の長さがすべてちがう＝ななめ型  参考：授業の様子 | ・辺の長さが分かりにくいものは、定規を使って調べさせる。  **・三角形を３つの型に分類するだけでなく、なぜその型に分類したのかも考えさせる。**  ・**三角形の三つの辺の長さで、どの辺が同じ長さ、どの辺が違う長さかを説明させる。** |
| まとめ | ４　３種類の三角形をまとめる。 | ・３つの辺の長さが同じ三角形は正三角形、２つの辺の長さが同じ三角形は二等辺三角形ということをおさえる。 |

６　本時の目標②

　二等辺三角形の作図の仕方を理解し、二等辺三角形を作図することができる。

参考：板書②

７　本時の展開②

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 児童の活動 | 指導上の留意点  **太字：つまずきに対する手立て** |
| 導　入 | １　既習事項を確認し、以下の二等辺三角形を作図することを確認する。  ウ  ア  イ | ・辺の長さに着目させる。 |
| 展　　開 | ２　自力解決をする。  　・定規のみでかく。  　・定規とコンパスを使ってかく。  ３　考えを発表し、話し合う。  　・定規だと頂点ウの位置を決めることが難しい。  　・コンパスは長さを写し取ることができるので二等辺三角形を作図することができるのではないか。  　・長さを確定するときは定規を使う。  　・長さを写し取るときはコンパスを使う。 | ・定規だと頂点ウの位置を決めることが難しいことに気づかせる。  ・**定規を使う理由と、コンパスを使う理由を考えさせ、コンパスは円をかく性質と、長さを写し取る性質があることを確認する。** |
| まとめ | ４　二等辺三角形のかき方をまとめる。 | ・底辺から先に書くことをおさえる。 |